

2019年11月8日 第3313回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 田邊 会長

<斉 唱> 「手に手つないで」

<ゲスト紹介> *参遊亭 遊助 様

<会長報告> *第1グループ三役会 報告

*ガバナー事務所より

・台風15号及び台風19号による被害地への義捐金協力依頼について

・第7回 日台ロータリー親善会議(福岡大会)のご案内

2020年3月6日(金) 於:ホテルニューオータニ博多

14時~ 開会・式典 登録料20,000円

<委員長報告> *雑誌委員会 曾我委員長よりロータリーの友11月号

*社会奉仕委員会小林(一)委員長よりポリオ根絶募金活動 報告

*渡邊幹事より北鎌倉女子学園IAC加盟認証伝達式 報告

*親睦委員会 加賀本副委員長より年忘れ家族会景品のお願いについて

<幹事報告> *第2期分会費納入のお願いについて

*日本のロータリー100周年記念ピンバッジについて

<出席報告> *出席委員会 猿丸副委員長より11月8日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	101名	67名	34名	10名	76.24%

<ニコニコ報告>

・三 役 参遊亭遊助様、本日は宜しくお願ひいたします。

・田中、大竹、濱田、鷺尾、植田、福西、小平、中村備、

佐久間、前川、上林、澤田、谷、根岸、徳永、木村、丸山、長尾 各会員

参遊亭遊助様、落語楽しみにしています。本日はよろしくお願ひいたします。

・越川、萩生田、齋藤慎、田村 各会員 誕生月祝いとして

・鈴木(㊦)、織茂 両会員 入会月祝いとして

・小林(一)、角井、小山(㊦)、加賀本、鈴木(㊦)、濱田、北村、

勝間、前川、波島、岡田、猿丸、前田、齋藤慎 各会員

11月3日、ともだちジャズに合わせた「ポリオ撲滅の為の募金活動」お疲れ様でした。

好天に恵まれもってこいの募金日和でした。

・中村備 会員 ポリオ撲滅募金に参加できず申し訳ありません。ディリーニュースとして取材させて

いただきました。田邊会長、インタビューありがとうございました。

・岡田、谷、齋藤慎 各会員 VTT医療チーム:久保田会員、前田会員、齋藤眞且会員、11月14日

出発。頑張ってください。

・中村(㊦)、瀬戸、加賀本、松本(㊦)、北村、山田(㊦)、小佐野、田村 各会員

11月6日、住よしにて3番テーブルTMが開催されました。住よしで美味しい料理とお酒を堪能でき、日頃お聞きできないお話を伺い、大変盛り上がりました。藤村副会長御出席ありがとうございました。また、松本会員、ご配慮頂きましてありがとうございました。

・原田、野坂、若麻績、佐久間、徳永 各会員 山寄先生の誕生日当日の10月28日5番テーブル

MTGをあら井にて行いました。会長、副会長、三宅さんもご参加頂きありがとうございます。

高橋(㊦)会員美味しい日本酒差入れありがとうございます。

・山寄 会員 先日の10月28日、実は私の84歳の誕生日であったのですが、5番TMが「あら井」

で開かれました。今回のテーブルミーティングで大変嬉しく感激したことが3つありました。

第1にテーブルマスターの徳永会員、サブマスターの原田会員のお世話で、出席会員から美しい花のアレンジメントのお祝いをいただきました。皆様ありがとうございました。突然だったので本当にびっくり致しました。第2に高橋隆一会員の銘酒の差入れ、お蔭様で半端ない銘酒を堪能させて頂きました。これで来年迄頑張れそうです。そして第3に高橋仁子会員には、いつも美味しいお料理をサービスしていただき、いろいろご配慮を下さりありがとうございました。

- ・梁井、八巻、高橋(倫)、越川、畑 各会員 11月6日、メルキュールホテルにて7番TMが開催されました。メルキュールホテルの美味しいお料理を堪能でき、健康をテーマとして超盛り上がりました。又、猿丸会員はラグーマンしかもフォワードのツワモノだった。また、高橋(倫)会員の貴重なお話、等、メンバーのご挨拶も多彩で、あつと言う間の楽しい2時間でした。渡邊幹事、三宅さんご出席頂きありがとうございました。
- ・佐久間 会員 加賀本さん、私の好物をありがとうございます。
- ・田村 会員 先日、上林ご夫妻の結婚記念日と私の誕生日が同じ11月14日とお聞きしました。大変光栄でした。

<卓 話> 「落語で社史を創る ～ サラリーマンからの転身」

参遊亭 遊助 様

【大竹会員より卓話者紹介】

参遊亭 遊助様 (本名・豆生田信一 (まめうだ・しんいち) 様)

1957 (昭和32) 年8月横浜生まれ

栄光学園高等学校 (24回生) 卒業後東京大学へ進学

1981 (昭和56) 年 横浜銀行へ入社

1989 (平成 元) 年 ミシガン大学MBA取得

2001 (平成13) 年 総合警備保障(株) (ALSOK) 入社

2011 (平成23) 年 総合警備保障(株)タイ現地法人社長に就任

2018 (平成30) 年 総合警備保障(株)退社 その後、落語家へ転身



参遊亭遊助でございます。経歴はご紹介をいただいたとおりですが、現在は落語家となっておりますので、何故なのかとよく聞かれます。60歳のときに会社を辞めて、昨年からは落語家として活動していますが、前に勤務していた会社は定年が65歳でした。つまり、定年前に勝手に辞めてしまったというわけで、退職金も自己都合であったことから減額されてしまいました。それでも私は辞めようと思ったのですが、それは子供の頃から人前で何かをすることが大好きだったので、それがベースにあるということが一つかと思えます。また、なんとなく昔から人

生というものを20年区切りで考えており、その区切りであったということも一つかも知れません。20歳過ぎまで学生として過ごし、就職した横浜銀行ではちょうど20年間勤めたところで早期退職制度を利用し

て退社しました。その後はアルソックという会社に入社して17年間勤めて切り上げれば20年であると思
い60歳のときに退社して、人生の第4ステージに入るときに何をやろうと考えたとき、落語家になること
を決めました。

実は私は100歳まで生きる決心をしています。生きられるか分かりませんが、生きるための努力をし
ています。私の父親は62歳のときにクモ膜下出血で亡くなってしまったため、私も長生きはしないだろ
うと思っていましたが、あることがきっかけで、どうしても100歳まで生きたいと思うようになりました。
それを決心したのが50歳のときでした。100歳まで生きるとすれば、ちょうど折り返し地点という感
覚でした。もう一度今まで生きてきた分の長さだけ生きられるのかと思うと急に元気が出たので、50歳
を過ぎてから色々なことを積極的に行うようになりました。例えば、今までも本は読んでいましたが、年間
100冊ずつ読むことにしました。また、ジョギングも始め、体重が標準より多かったものが、今では標準
となりました。そしてALSOK在職時にはMBAを取得していましたがノウハウを後輩に伝えるために
勉強会も10年間くらい続けてきました。また、50歳になる前にはバイオリンを習ったりもしましたが、
その時は先生が鬼のように怖く10ヵ月ぐらいで挫折をしてしまいました。とにかく50歳を過ぎてからも
色々なことにチャレンジしようという気になりました。

ALSOK在職中、タイに単身赴任をしていました。タイに駐在すると、ほとんどの方は土日にゴルフ
を行っています、私は手を傷めていることからゴルフが出来ませんでした。このため、土日は暇を持て余
していたので、何をしようか探していたところ、日本人の劇団を見つけました。元々人前に出ることが好き
だった性格でしたので、演劇を見に行きこの程度なら自分にも出来ると思い、入団させてもらいました。
人前に出てスポットライトを浴びるといことは大変気持ちが良いと感じました。その後、日本に帰ってきま
したが、日本には妻もいますし、演劇というのは土日でも平日の夜も練習があり、ましてや本番になると連続
6日間ぐらいやったりもします。そうすると、その間は会社を休まなければいけなくなってしまいますので、
それは無理だと思い演劇はあきらめ、落語に目をつけました。落語は一人で練習すれば良いですし、発表の
場も適当に探せます。そこで私は三遊亭遊三師匠、笑点に出演している三遊亭小遊三さんの師匠ですが、そ
の方が社会人向けに開かれている落語教室みたいなのところに入り、いわゆる社会人弟子にさせてもらい落語
を始めました。

落語を始めたところ、やはり人前で
話すということが楽しくて、しかも落
語の場合はお客様がニコニコながら
笑って帰っていただけということが
とても嬉しくて、その後も落語の世
界にどんどんのめり込んでいきました。
そのうちに色々なところからお声がか
かるようになり、ある場所で落語を披
露したところ、謝礼がもらえるよう
になりました。サラリーマン時代には毎
月25日に銀行口座に何十万と給与が
入っていましたが、その給与は自分が
どれだけ働いた成果なのか分からず実
感が沸きませんでした。しかし、落語
で何か話しをして少しでもお金をいた



だくことができると、自分が語ったことに皆さんが喜んでくれたのだと実感できますので、つくづく良いも
のに巡り合えたと感じています。友人達からは、65歳の定年を過ぎてから落語をやれば良いのではないかと
言われましたが、65歳のときと60歳のときの5年間の体力は違うだろうと思いましたが、思い切っ
て会社を辞めてしまいました。そして、辞めてみてどうだったのかということも聞かれますが、私は大変充
実していると答えています。何が良いのかというと会議も稟議もありませんので、講演の出演の可否につ
いても全て自分で決めることができるからです。会社に勤めていたときは会議や稟議で物事を決めるとい
うことが好きではなかったため、今はとても良いと感じています。ただし、もう一方で、体調管理、自己管理に
気をつけなければいけないと思っています。本日も体調不良で講演ができなければ皆様大変なご迷惑が掛

かってしまいます。それからスケジュール漏れやダブルブッキングなども絶対にあってははいけません。そのようなことには十分気を付けるようになりました。今後も暫くは落語家として活動して行こうと思っており、人生が二毛作、三毛作のような生き方が自分では楽しいと思っています。しかしながら例えば現役時代、経理の仕事をしていて退職してもまた違う会社で経理の仕事をするなど一毛作というのもとても立派なことだと思います。それぞれ皆さんの生き方で選ばれたら良いのではないかと思います。

私は落語家として昨年は51回の高座をやらせていただきました。今年は年末までに107回くらい行う予定です。そして、今月の下旬にはタイに行って6日間連続で8講演もやろうと恐れながら考えています。このようなことをやっているとき々、落語家を呼びたかったのだけれど、どうやって呼んだらいいのか分からなかったというのを聞きます。私は徐々に輪が広がっていったのですが、世の中では落語家に接していく術が無いのだと感じました。私は気楽に呼んでいただけるように毛氈も座布団もめくり台も全て自分で持参しています。そしてお声が掛かれば何処にでも行きますのでトイレで着替えてくれと言われたこともあります。あるところではビールケースの上にベニヤ板を敷き、その上でやってくれなんていうところもありました。本日は非常に机が頑丈ですが、震度2ぐらい揺れる机でやっていることも度々あります。そんなことですので気楽に呼んでいただければありがたいと思います。

本日、皆様のお手元にもお配りしましたが、私は落語で社史を語るということを思いつきました。中小企業の皆様は創業者の方やオーナー一家の方が多く、そのような会社の社史を記録として残すことは大事なことです。なかなか社史は読んでもらえません。私も銀行に勤務しているときは支店長室のガラスケースに並んでいるだけの社史をたくさん見ました。資料としては立派ですが、それを読んで会社のことを理解するというには繋がらないと感じます。それでしたら創業者あるいは社長様のお話を聞いて苦労話などを一つの落語にして、例えば50周年の祝賀会などというところで披露させていただけたら記憶に残るのではないかとということで始めました。既に2社でやらせていただき大変好評をいただいています。そして今後も2社で行うことが決定しています。皆様方も興味がありましたら是非お声掛けいただきたいと思います。落語を作らなくてはいけないため少しお値段は高くなりますが、個別にご相談いただければと思います。残り時間が15分ほどとなりましたので、この後は落語を一席お聞きいただければと思います。

【その後、参遊亭遊助様による落語が披露された。】

<閉会・点鐘> 13:30 田邊 会長

週報担当 鷺尾 精一